

令和8年度 職業訓練介護ヘルパー科(介護職員初任者研修)講師委託に係るカリキュラム(内容含む)

項目(小項目は内容)	基準時間	担当職種等
<b>1. 職務の理解</b>	<b>6時間</b>	
1 多様なサービスの理解		介護福祉士・社会福祉士等
2 介護職の仕事内容や働く現場の理解		
<b>2. 介護における尊厳の保持・自立支援</b>	<b>9時間</b>	
1 人権と尊厳を支える介護 (1) 人権と尊厳の保持 (2) ICF (3) QOL (4) ノーマライゼーション (5) 虐待防止・身体拘束禁止 (6) 個人の権利を守る制度の概要		介護福祉士・保健師・看護師等
2 自立に向けた介護 (1) 自立支援 (2) 介護予防		
<b>3. 介護の基本</b>	<b>6時間</b>	
1 介護職の役割、専門性と多職種との連携 (1) 介護環境の特徴の理解 (2) 介護の専門性 (3) 介護に関わる職種		介護福祉士・保健師・看護師等
2 介護職の職業倫理		
3 介護における安全の確保とリスクマネジメント (1) 介護における安全の確保 (2) 事故予防、安全対策 (3) 感染対策		
4 介護職の安全		
<b>4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携</b>	<b>9時間</b>	
1 介護保険制度 (1) 介護保険制度創設の背景及び目的、動向 (2) 仕組みの基礎的理解 (3) 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割		介護福祉士・社会福祉士等
2 医療との連携とリハビリテーション		医師・保健師・作業療法士等
3 障害福祉制度およびその他制度 (1) 障害福祉制度の理念 (2) 障害福祉制度の仕組みの基礎的理解 (3) 個人の権利を守る制度の概要		介護福祉士・社会福祉士等
<b>5. 介護におけるコミュニケーション技術</b>	<b>6時間</b>	
1 介護におけるコミュニケーション (1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 (2) コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション (3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 (4) 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際		介護福祉士・保健師・看護師等
2 介護におけるチームのコミュニケーション (1) 記録における情報の共有化 (2) 報告 (3) コミュニケーションを促す環境		

6. 老化の理解		6時間
1 老化に伴うところとからだの変化と日常 (1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 (2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響		介護福祉士・保健師・看護師等
2 高齢者と健康 (1) 高齢者の疾病と生活上の留意点 (2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点		
7. 認知症の理解		6時間
1 認知症を取り巻く状況		介護福祉士・保健師・看護師等
2 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		医師・保健師・看護師等
3 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 (1) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 (2) 認知症の利用者への対応		介護福祉士・保健師・看護師等
4 家族への支援		
8. 障害の理解		3時間
1 障害の基礎的理解 (1) 障害の概念とICF (2) 障害者福祉の基本理念		介護福祉士・保健師・看護師等
2 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (1) 身体障害 (2) 知的障害 (3) 精神障害(高次脳機能障害・発達障害を含む) (4) その他の心身の機能障害		社会福祉士・保健師・看護師等
3 家族の心理、かかわり支援の理解		介護福祉士等
9. ところとからだのしくみと生活支援技術		75時間
<Ⅰ 基本知識の学習 10～13時間程度> 1 介護の基本的な考え方 2 介護に関するところのしくみの基礎的理解 3 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 <Ⅱ 生活支援技術の学習 50～55時間程度> 4 生活と家事 5 快適な居住環境整備と介護 6 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 7 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 8 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 9 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 10 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 11 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 12 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護 <Ⅲ 生活支援技術演習 10～12時間程度> 13 介護過程の基礎的理解 14 総合生活支援技術演習		介護福祉士・保健師・看護師等
10. 振り返り		4時間
1 振り返り 2 就業への備えと研修終了後における継続的な研修		介護福祉士等
11. 補講		13時間 (補講は固定)
1 修了試験作成協力3時間 2 採点評価協力1時間振り返り 3 不合格者を対象とした補講8時間 4 再試験採点協力1時間		介護福祉士等
合計		143時間

愛媛県立宇和島産業技術専門校「介護ヘルパー科」としての全体カリキュラムには、就職支援時間及び外部介護施設実習時間等を追加して実施する。